

## 令和7年度 町長と語る会の意見と回答（栃木県立上三川高等学校）

参加者	意見	回答
しもむら ともひろ 下村 友優	がたがたした道路があり、曲がり角で事故がある。	町で管理している道路がひび割れしたり、穴が開いてしまったりしている場合は役場の職員がアスファルトを持っていき直したりしています。全体的に損傷がひどく全面的に直す必要がある時は、全部はがして新しい舗装にするとか、計画的に行っています。またカーブミラーなどは、地元の自治会長さんなどから要望が来ると、そこを調査して設置したりしています。
つむら るあ 津村 瑠愛	どの都道府県、市や町を見ても人口減少や少子高齢化問題がありますが、過疎化対策として上三川町はどのようなことを行っていますか。	町の過疎化対策としては、働く場所として産業団地を作り、新たに優良な企業に入ってもらうことで卒業後の就職先ができて若い人たちが残る。 また人口を減らさないために子育てをしやすい環境にするため、結婚した夫婦には最大60万円、新しい新居を作ると補助をしたり、お子様が産まれると、第一子、第二子保育料は無料ですけど、3人目が生まれた場合は、町から20万円贈呈するなど行っています。 昨年の5月にO R I G A M I プラザという施設を作りました。その中にある子育て支援センターでは、最初に赤ちゃんが生まれたときはお父さんにしてもお母さんにしても、不安なことや心配もいっぱいあるので、子育て相談ができる場所となっています。
たかはし なおや 高橋 直也	最近の夏はとても暑く外で遊びたいけど暑くて外にいけない中高生に室内アスレチックを作してほしい。	室内で遊べるような場所を作るとなると、大きな金額がかかると思います。 今上三川町は全部の小・中学校と上三川中学校の前の日産スポーツセンターにエアコンを入れる工事をしています。来年の夏からは全部の小・中学校の体育館とスポーツセンターでエアコンを使えるので、アスレチックはないけど、様々なスポーツや遊びとかそういうのでできるので、使ってもらえればと思います。
ひがしかわ るい 東川 琉生	町が進めている政策で最も私たちに協力してもらいたいものは何か。	SNSでイベントなどの写真とか自分たちで撮った動画とかを何かで発信してもらいたい。 イベントに参加してもらって、楽しかったなんてコメント添えて外に向けて発信してくれたりすると、それが世の中に拡散され上三川町の評価があがるのでやってもらえるとありがたいなと思います。
いざわ なな 井澤 奈々	学校から帰るとき明かりがなくて怖い。防犯面の対策になる。	上三川町では、通学路などを中心に特に危険だと思われる箇所を自治会長さんから学生が通るので防犯灯がほしいですと言われると、役場の職員が調査に行き危険性が確認されると、年間の予算の中で設置を進めています。
てらだ そうすけ 寺田 奏颯	上三川町や他の市町の人とあまり話す機会がないので、交流できる場所があるといいと思う。たくさんの人と話すことで町の新しい魅力にも気づけると思う。	高校生プロジェクトに参加されている方がいましたね。そういうものに参加してもらえると地元の人とお話する機会が出てくるので交流してもらおうと機会になると思います。なかなか高校生の場合、部活があったり、学校があったりして参加が難しいとは思いますが、そういうところに皆さんが足を運んでくれると我々としてもありがたいです。
やまもと こたろう 山本 虎太郎	バス停を増やすことでバスに乗りやすくなると思う。雨天時など視界も悪くなり車と接触する可能性があるので自転車通学は避けたい。夏は熱中症対策でバスに乗ることが多くなるため。	バスは民間会社が運営していて、乗る人が少なくて運賃が入らないとバス会社は撤退してしまいます。そのため町では路線を維持するためバス会社に補助金を出しています。 上三川高校生や高校生以外にこの自治大駅から上三川高校までくる人がたくさんいれば、バス会社においてほしいバス路線を作ってもらうことができるとは思いますが、今までの調査の中ではあまりいないことから実施には至っておりません。
たむら みう 田村 美羽	世界に発信したいと考える上三川町の良いところ、魅力は？	今町で取り上げているのは、折り紙で、吉澤さんっていうこの方が折り紙の創作を担う世界の第一人者だった人で、外務省に頼まれて、世界中に日本の文化を伝えるために、世界中にローマ字でO R I G A M I の普及をしたんです。すぐ折り紙は力があるのではないかと思魅力発信していきたいなと思います。 上三川町は鬼怒川、田川、江川って3本の川の町なのです。その肥沃な農地で産出される農作物はすごく美味しいのが多いので魅力として発信していきたいなと思います。
おのぐち かな 小野口 果那	上三川町では英語教育に力を入れていることから、多くの中学生が積極的に検定を受けているとのこと。この制度を高校生までに改正してほしい。	上三川町では英語教育に力を入れています。英検は中学校3年生が1年に1回全額を免除、1年生2年生は、半額を免除しています。 文部科学省では中学校卒業するまでに英検3級以上を取得することを目標にしている、上三川町では、それが60％ぐらいの生徒ができることを目標として取り組んでいて令和6年度は45％です。英語教育は、なるべく早い段階で、小学生、またはそれよりも低い年齢の段階で英語に触れることで、英語に対する苦手意識や抵抗感をなくしたいと思っています。
あない れな 穴井 麗那	高校を卒業したら上三川町を出る人が多いと思う。そのため、若い人が町に戻ってくるように色々な施設があるといいと思う。カフェやスポーツができる場所などがあったらいいと思う。	商工課、商工会で、起業支援というものがあり、カフェがないから私が作ろうかなという人がいたら、ぜひその商工会の起業支援みたいなものを利用していただきたいです。そういうのができたら、人が来てくれたり、町から1回出てまた戻ってきてくれるとかに繋がるようにしていきたいので、こんなものが地元のところにあったらいいと思うよみたいな意見を高校生プロジェクトや、メールなどで町に教えてもらいたいです。
いしざき のあ 石崎 叶蒼	少子高齢化が進行して人口が減っている。上三川町を活気づけるためにどのようなことしているのかわかりたい。	栃木県の中でも車社会の中心となる場所で美味しい野菜が採れます。その価値を魅力として盛り上げていければというふうに思います。 今、道の駅を計画していて準備を進めていますが、栃木県で一番この車交通の要衝と言われるあたりに道の駅を作る。道の駅を目的として、上三川町以外からも他県からも、北関東自動車道を通して来町する。そういった町の計画を進めています。
うえの らいき 上野 来暉	どのようなものを販売するのか。上三川町ならではの建造物は作ることか。上三川町に誘導して観光させるよう促してほしい。他の道の駅にはない新しい要素を入れてほしい。	他にもう全国で1200ぐらいある道の駅で、他の道の駅でないのは、例えば日産の工場があって、日産は昔からすごい車マニアの人が大好きな車をいっぱい作っていて、そういう車が神奈川県座間とゆうところに保管されているので、そういう車を持ってきておいてみようかなとか、上三川町は大洗町と、友好都市関係を結んでいるので、太平洋の魚で、おさかな市場ができたらいいかなという企画があります。